3 横浜市寿町健康福祉交流センターの管理運営

横浜市寿町健康福祉交流センターは、寿地区の保健医療の充実を図るとともに寿地区の住民をはじめとする市民の健康づくりや介護予防に取り組み、また自立した生活の支援を通して生活環境の向上を推進し、さらには市民の社会参加を促進して市民相互の交流を深め、もって福祉の向上に寄与するために設置された施設です。当協会は、同センターの指定管理者としてセンターの諸機能を有効に活用して、市民等の利用に供するとともに各種事業を実施しました。

令和 2 年度～4 年度には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の休館や使用制限、事業の休止、開館時間の短縮などを行いました。現在も施設の換気、消毒の措置を講じ、利用者には検温、マスクの着用、手指の消毒、などに御協力をお願いしております。令和 5 年 10 月には、第 1 期に続き、令和 6 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日までの 5 年間、指定管理者として第 2 期の指定を横浜市から受けました。

◆センター施設概要

名称	横浜市寿町健康福祉交流センター		
所在地	横浜市中区寿町 4 丁目 14 番地		
敷地面積	2,647.82 m ²	建築面積	1,628.81 m ²
延床面積	2,529.94 m ² (1 階 736.60 m ² 、2 階 1,457.69 m ² 、地下 335.65 m ²)		
広場面積	約 700 m ²		
施設全体	構造	鉄筋コンクリート造 地上 9 階地下 1 階 (3～9 階市営住宅) 高さ 30.8m	
	延べ面積	7,685 m ² (福祉施設 2,530 m ² 、市営住宅 5,155 m ²)	
	用途	福祉施設 1・2 階 地階 屋外 市営住宅 1 階 (玄関、集会室) 3～9 階 80 戸	
施設内容	<p>【1 階】多目的室、作業室、調理室、ラウンジ、図書コーナー、管理人室他</p> <p>【2 階】診療所、精神科デイケア、健康コーディネート室、活動・交流スペース、一般公衆浴場、授乳室、事務室等、横浜市ことぶき協働スペース (指定管理外)</p> <p>【屋外】広場、スロープ、駐車場 (5 台)、利用者駐輪場、屋外トイレ、防災備蓄倉庫他</p> <p>【地下】 機械設備室</p>		

予約が必要な施設	<p>【1階】多目的室（約110㎡）※ 作業室（約30㎡） 調理室（約20㎡） ※個人利用の時間帯や予約がない場合は、自由に利用できます。</p> <p>【2階】活動・交流スペース（約90㎡） ※会議室は2室に分離できます。オープンスペースはミニ打合せ等で自由に利用できます。スペース内には、会議室2室含まれます。</p>
設備	エレベーター、太陽光パネル、広場防災用トイレ他

◆センター施設の貸出

対象者	寿地区の住民をはじめとする市民相互の交流を推進して、市民の健康づくりや介護予防、自立支援等、健康福祉の向上を図るための様々な活動をしている団体等です。なお、貸出施設以外の施設は誰もが自由に利用できます。														
対象施設	①多目的室、②調理室、③作業室、④活動・交流スペース（会議室1、会議室2含む）。 ※調理室は、多目的室・調理室と一体で利用することもできます。														
貸出区分	貸出の単位は3時間ごとの区分とします。 ①午前 午前9時から午後0時まで ②午後1 午後0時から午後3時まで ③午後2 午後3時から午後6時まで ④夜間 午後6時から午後9時まで ※日曜日・祝日の「午後2」の区分は、午後5時まで、夜間区分はありません。														
利用料	無料														
目的外使用	<p>地域住民による健康活動や福祉活動及びこれらの活動を通して住民相互の交流を図るために交流センターを利用しようとする活動以外の目的であるものの、条例及び要綱の範囲内の使用であり、所定の目的外使用料を支払うことで交流センターを使用することができます。</p> <p>【一区分あたりの目的外使用料金】</p> <table border="0"> <tr> <td>①1階多目的室</td> <td>1,530円(1,020円)</td> </tr> <tr> <td>②1階調理室</td> <td>330円(220円)</td> </tr> <tr> <td>③1階作業室</td> <td>420円(280円)</td> </tr> <tr> <td>④2階活動・交流スペース(会議室1)</td> <td>300円(200円)</td> </tr> <tr> <td>⑤2階活動・交流スペース(会議室2)</td> <td>420円(280円)</td> </tr> <tr> <td>⑥2階活動・交流スペース全室*</td> <td>1,380円(920円)</td> </tr> <tr> <td>⑦駐車場</td> <td>600円/台(400円/台)</td> </tr> </table> <p>()内は日曜祝日の「午後2」の区分のみ適用されます。 ※「活動交流スペース全室」とは活動交流スペースの一体利用の場合で枠数としては2枠としてカウントします。</p>	①1階多目的室	1,530円(1,020円)	②1階調理室	330円(220円)	③1階作業室	420円(280円)	④2階活動・交流スペース(会議室1)	300円(200円)	⑤2階活動・交流スペース(会議室2)	420円(280円)	⑥2階活動・交流スペース全室*	1,380円(920円)	⑦駐車場	600円/台(400円/台)
①1階多目的室	1,530円(1,020円)														
②1階調理室	330円(220円)														
③1階作業室	420円(280円)														
④2階活動・交流スペース(会議室1)	300円(200円)														
⑤2階活動・交流スペース(会議室2)	420円(280円)														
⑥2階活動・交流スペース全室*	1,380円(920円)														
⑦駐車場	600円/台(400円/台)														

◆センター登録団体及び事前予約

登録団体	横浜市寿町健康福祉交流センターにおいて活動を行う団体は、事前に団体登録を行っていただき、登録区分に応じた活動としてセンターを利用できます。
登録区分	<p>団体登録区分は、次の3区分に分かれています。</p> <p>①健康福祉交流団体 市民の健康づくりや介護予防、または、福祉支援を必要とする地域住民の自助活動、支援活動、若しくは地域の支えあいを目的とした住民相互の交流活動に直結し、健康福祉交流活動の担い手として活動する団体。</p> <p>②健康福祉協力団体 自らの生活環境等の向上のために活動している団体であって、健康福祉交流活動、地域貢献活動等のためのボランティア活動を実施する団体。</p> <p>③その他の団体 目的外団体及び未登録団体。</p>
団体登録の有効期限	登録した日から3年間有効とします。継続して登録する場合には有効。期限満了日までに、団体登録書の更新をご案内します。
事前予約	<p>登録を行っていただいた団体は、登録区分に応じて、優先的に事前予約ができます。電話予約も受け付けていますが、正式な利用申請書の提出していただきます。</p> <p>【事前予約受付可能日及び利用枠数】</p> <p>①健康福祉交流団体 2か月前の1日から 上限3枠まで</p> <p>②健康福祉協力団体 1か月前の1日から 上限2枠まで</p> <p>③その他の団体 利用日から起算して30日前から 上限はありませんが横浜市の許可が必要となります。 ※利用枠数とは、貸出区分ごとに原則1施設</p>
登録団体数	70 団体
優先利用	横浜市が、健康福祉交流推進のために交流センターを利用しようとするときは、優先的に利用します。

(1) 診療所（公益目的事業2）

地域医療を支える診療所として患者に寄り添い、予防し、治し、支える医療を様々な面から提供しました。

②年末結核検診事業の受託

横浜市が、年末年始に住居を持たない生活困窮者のため一時宿泊所を提供する「寿地区年末年始対策事業」の一環として行う「結核検診事業」を受託し実施しました。 12月28日 7名

【新規拡充等の取り組み】

① 横浜市立大学医学部との共同研究

横浜市立大学医学部と令和5年度から共同研究契約を締結し、連携を深めることで、地域特性を踏まえた医学教育研究の取り組みへの貢献及び医師確保に努め、内科二診制の定着を進めることにより、患者の待ち時間の短縮と診療内容の充実とともに、医師の負担軽減を図りました。

② 診療所の持続可能な組織運営

事務運営の責任者を配置し、診療部門を統括する医師と協力し、医療安全やコンプライアンスにも配慮した組織運営や、診療所見学者受け入れを進めました。また横浜市立大学臨床研修センターの地域医療研修協力施設となるなど、今後を見据えた運営に取り組みました。

(2) 健康コーディネーター室（公益目的事業2）

地域住民が日常生活において無理なく、楽しみながら健康づくり・介護予防につながる行動を実践できるよう、その行動を支援する取組や環境づくりを進めました。

① 健康チェック・健康相談

血圧等の測定や個別相談を通し、自身の健康管理ができるよう支援しました。

ア エリア内の他診療所との連携のツールとして血圧手帳を活用し、利用者を増やしました。 39,404人

イ 出張健康相談として、生活館での健康相談を実施しました。

46回 641人

ウ 個別生活改善（栄養士による個別栄養相談）事業：継続した相談ができるよう工夫しながら実施しました。413人

② 健康づくり・介護予防の推進

日常生活の中に、楽しみながら運動やバランスの良い食事が取り入れられるよう、各種教室を開催しました。

ア 健康クラブ： 体力測定を行うことで、参加者のモチベーションの向上を図りました。 27回 295人

イ ミニクッキング： 栄養指導対象者のほか、業務班と協力し、試行的にアシス

- ト事業参加者を対象に、実施しました。24回 222人
- ウ ノルディックウォーキング体験会：運動習慣が身につくよう、業務班と協力し実施しました。27回 207人
- エ 作業所を対象とした健康づくり：健康や食生活をテーマとした講話を、地域の作業所に実施しました。作業所職員に対しては、健康づくりサポーターとしての役割を伝えました。13回 161人

③ 関係機関・団体とのネットワークの構築

- ア 寿地区障害者作業所等交流会：寿周辺地区にある約20団体の作業所を対象に、交流会と実務者連絡会を開催しました。

交流会 4回 実務者連絡会 12回

- イ 健康コーディネート連絡会：関係機関の情報交換を目的に年3回開催しました。

参加機関：中区福祉保健課、高齢・障害支援課、生活支援課、不老町地域ケアプラザ、寿福祉プラザ相談室

- ウ 簡宿連絡会：ミニクッキングを体験しながら、管理者との交流会を実施しました。1回（12月） 4か所参加

◆施設概要

開室日時	月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで
休日	土曜日、日曜日、祝日および12月29日～1月3日
スタッフ	4名（室長含む）
各種機器・設備	体組成計測定器、血圧計、各種フードモデル、血中酸素濃度測定器、握力計、ラダー等
延利用者	39,404人

(3) 一般公衆浴場（収益事業1）

一般公衆浴場は、地区の住民の生活環境の公衆衛生の向上、健康づくり・介護予防のためにも必要不可欠な施設です。また、単身生活者の住民がふれあい交流できる場の一つでもあります。

当協会は、旧寿町総合労働福祉会館において、42年間一般公衆浴場を営業してきました。旧会館を閉鎖した平成28年3月末から一時、休業していました一般公衆浴場「翁湯」を、センター開所に合わせ、令和元年6月1日から再開しました。再開にあたっては、横浜市浴場協同組合と協議し、協力（一部業務の委託）を得て運営しています。

① 委託業務の内容

安全確認を含む受付業務、清掃及び衛生管理業務、設備機器管理業務

② サービスの向上

ア 横浜市浴場協同組合と連携し、季節のあるサービスを実施（菖蒲湯、柚子湯等）

イ 健康器具（血圧計、体重計等）を設置

③ 広報

協会機関紙「いぶき」での PR、正面に横断幕、のぼり旗等の設置

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午後 1 時から午後 9 時まで
休日	日曜日及び元旦
入浴料金	大人 500 円（令和 6 年 2 月～530 円）、中人（6 歳以上 12 歳未満）200 円、小人（未就学児未満）100 円
物販品	タオル、石鹸、飲み物等
アメニティ	体重計、血圧計等
延床面積	約 200 m ² （脱衣室、洗い場・浴槽含む）
延利用者	25, 354 人

(4) 諸室の管理及び活用

感染拡大防止のため、定期的な換気、消毒とともに、定員の半数程度を上限として、利用に供しました。

【1 階】

① ラウンジ（公益目的事業 1）

ラウンジを数区画に分け、諸室との連携を考えながら、住民のニーズに沿った異なる機能を持たせています。また、総合的イベントや地域行事ではラウンジ・諸室・広場を一体的に利用いただけます。

また、相談窓口としての機能を高める視点から、半円形でラウンジ全体を見渡せる新設のカウンターを中央寄りに設置しています。

ア 飲食コーナー

電子レンジやポットなどを提供し、軽飲食ができるコーナーとして利用されました。

イ 娯楽コーナー

人気の高い囲碁・将棋コーナーについては、感染拡大防止のため、台数を減らしています。

ウ テレビコーナー

60 インチの大型液晶テレビを設置し、常時放映しています。

また、月に1度程度、映画3本立ての上映（コトキネ）を行いました。
 エ 情報コーナー
 行政広報資料や地域関係機関団体等の情報資料を提供しました。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象外
利用方法	個人利用（利用登録なし）
アメニティ	液晶テレビ、囲碁、将棋セット（貸し出し休止中）、電子レンジ、ポット等
延床面積	約320㎡
延利用者	28,225人

② 図書コーナー（公益目的事業1）

各種図書を備え、読書の場を提供しました。

貸出カウンターは、相談窓口としての機能も付加するため、半円形でラウンジ全体を見渡せる形状としています。（①再掲）

また、本の閲覧・貸し出し、新聞の閲覧の他にも、様々なアート作品を展示するなど居心地の良い空間を提供するようサービス向上に努めました。

【継続事業】

ア 図書コーナーだよりの発行（年4回発行）

季節に合わせたテーマの本や、職員のお勧め本などを紹介しました。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日及び12月29日～1月3日
受付	スタッフ1名常駐
施設貸出	対象外
利用方法	個人利用（図書貸出は登録制）
アメニティ	各種図書（約8,600冊）、カードシステム（バーコード式）、 血圧計・体重計等
延床面積	約70㎡
延利用者	32,193人

③ 多目的室（公益目的事業 1）

軽運動や会議、講座、研修など幅広い用途で利用されました。隣接している作業室や調理室と連動した催しも行っています。なお、感染拡大防止の観点から、卓球など自由利用は休止しています。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日及び12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用の他、個人利用の時間帯を設ける（個人利用は、現在休止中）
アメニティ	テーブル・椅子、映像・音響機器、大型スクリーン、卓球台・卓球セット、ヨガマット、運動用具等
延床面積	約110㎡
延利用者	18,031人

④ 作業室（公益目的事業 1）

工作物を製作等の軽作業の他、打ち合わせ等にも利用されました（利用人員は8人程度）。隣接している多目的室や調理室と連動した催しも行っています。（個人利用はできません）

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用
アメニティ	作業台、椅子、工具セット、アイロン、ミシン等
延床面積	約30㎡
延利用者	2,286人

⑤ 調理室（公益目的事業 1）

調理台や調理器具などを取り揃えており、料理教室や栄養講座の開催などの用途で利用できます。（利用人員は5～6人程度）隣接している多目的室や作業室と連動した催しも行えます。（個人利用はできません）

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
------	---

休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用
アメニティ	調理台、各種調理器具、冷蔵庫、炊飯器、電子オーブンレンジ、電気ポット、各種食器、配膳ワゴン等
延床面積	約20㎡
延利用者	1,244人

【2階】

⑥ 活動・交流スペース（公益目的事業1）

会議室2室とオープンスペースの部分があり、パーティションを移動させて一体的に使用することができます。会議室は諸団体が打ち合わせや活動の場所として予約利用されています。オープンスペースは、自由にミニ打合せなどで予約なしで利用できるスペースです。（オープンスペースは現在は感染拡大防止のため会議室との一体利用以外は使用休止）また、登録団体や地区内の様々な団体の活動を紹介する資料を閲覧できるコーナーを設け、地域の文化・歴史などがわかる展示（写真・資料等）地区内の保育園園児等の作品展示、地域ゆかりのアーティストや障害者等の作品展示を行いました。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用、オープンスペースは個人利用もできます。
アメニティ	テーブル・椅子、ラック等、印刷機
延床面積	約90㎡
延利用者	14,726人

【屋外等の利用】

⑦ 広場

センターの1階の交流ゾーン及び2階の縁側通路及びスロープと一体となった広場は、地域の住民や団体の交流、ふれあいの拠点であり、様々な地域活動を支える機能を発揮できる施設として利用されています。

【4つの機能】（約700㎡）

ア 住民の日常生活を支える憩い・息抜き・遊び・語らいの居場所機能

イ 指定管理者や地域の諸団体等の主催する催事を実施する会場としての

機能

- ウ 地域全体のイベントの場として、地区内外の住民相互の交流機能
- エ 災害時等の一時避難場所や応急活動拠点などの公的機能

⑧ 受付警備（公益目的事業1）

日中、夜間を通してセンター施設内外の案内業務と警備を行い、設備の維持管理を行う他、急病人に対する救急車の要請等などの業務を行っています。

◆施設概要

案内業務 開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日及び元旦
体制	警備員1～2名常駐

⑨ 自動販売機等の設置（収益事業1）

利用者へのサービスとして、1階ラウンジのリフレッシュコーナー等に飲料の自動販売機（非常時対応用）を設置しています。売上本数に応じた設置手数料を収益とします。また、1階ラウンジに有料のコピー機を設置しています。

(5) 自主企画事業（公益目的事業1）

① 自己啓発教室

参加者の自立を支援し、生きがいを持って充実した生活を送れるよう、地域と連携し、寿地区を盛り立てる要素を取り入れた継続性のある講座や、様々なバラエティに富んだ講座を企画し、事業内容、人数、参加規模等、感染拡大防止に配慮した上で、可能な事業について開催しました。「健康づくり」、「生きがいづくり」を主なテーマとし、人と人との触れ合い、交流や健康維持増進・介護予防に役立つ学びの場を提供しました。

◆プログラム

ウォーキング サッカーを 始めてみよう	安全で誰でも手軽にできる「ウォーキングサッカー」の基礎を学び、住民の異世代交流、健康増進に繋げています。11月には、地区内作業所などが参加したウォーキングサッカー大会を開催しました。	4月～3月 43回開催 計1,248人 大会 6チーム参加 87人
園児サッカー 教室	地区内保育園児（年長クラス）を対象に、Y.S.C.Cのトレーナーも指導に参加し、園児の交流ができるサッカー教室を開催しました。	4月～3月 19回開催 計433人

ノルディックウォーキング講座 & ゴミ拾い	ノルディックウォーキングの基礎を学び、区内をウォーキングする他、清掃活動と組み合わせて地域貢献も行います。	ウォーキング30回 248人 ゴミ拾い 3月 72人
健康づくり自己啓発講座 (Y.S.C.C.とのコラボ企画) ※	Y.S.C.C.等との連携のもと、健康づくりに欠かせない「食育」「からだの痛み」「睡眠」「健康体操」について包括的に体験学習できる講座を月1回、4か月シリーズで年1コース行いました。 食育：管理栄養士指導、からだの痛み、睡眠、 体操：Y.S.C.C.トレーナー指導	4月～3月 12回開催 計358人
健康体操教室	Y.S.C.C.のトレーナーの指導のもと、足腰が弱い高齢者でも無理なく継続できる体操教室を行います。	6/12/1/ 3回開催 計27人
その他民間コラボ講座	民間企業・団体と協働で、日常生活を豊かにする講座を開催しました。(①グランドゴルフ7回②ラダーゲッター6回③ポッチャ54回④スマホ教室12回⑤書道を学ぼう3回⑥スポ協3回シリーズ3回⑦自分の歯の健康を知ろう5回、お片付け講座1回、フルイドアート1回) 他	4月～3月 111回 2,570人

※Y.S.C.C. (NPO法人 横浜スポーツアンドカルチャークラブ)
中区本牧に本部を置き、子どもから社会人まで、家族的雰囲気の中で活動するスポーツクラブで、現在J3リーグで活躍しています。

② スマイル事業

誰でも気軽に参加でき、笑顔で楽しめる多様で魅力的なプログラムを実施していくことで、住民相互の交流を深める事業を展開しました。

◆プログラム

スマイルパター	6個のボールをスタートラインからスティックで打ち、得点合計を競いました。	12回 213人
スマイルゴルフ	パターゴルフのように行い、6回打ってボールが的に何個入るのかを点数にして競い合いました。(毎月開催)	13回 225人
頭脳クラブ	脳トレ、トランプなど頭脳を使ったレクリエーションを実施しました。	4回 55人
映画クラブ	参加者からアンケートなどで人気の高い映画を、ジャンルに変化をもたせ上映しました。	12回 251人

スマイル書道クラブ	書を通じてふれ合うとともに、「ことぶき作品展」への出展に向け、上達を目指しました。	12回 202人
スマイルいろいろクラブ	安定した座位で行えるレクリエーション。ボッチャ・すごろく・スポーツ談義などを実施しました。	8回 103人
工芸クラブ	手芸、工作等を体験してもらい、創作の喜びと、心の活力と安らぎを得られる場としました。	12回 164人
クリスマス会	クリスマス会でゲームや飲食を楽しみました。	1回 21人

③ バラエティ講座

多くの住民が講座への参加を通じて、交流を深め、能動的な社会参加につながるようにします。また、寿地区以外の方にも関心をもっていただけるプログラムも企画しました。

◆プログラム

文化娯楽・教養系	横浜の歴史講座 3回 30人、影絵とアコーディオン演奏会 1回 24人、書道教室 4回 30人、音遊び講座 1回 20人	
----------	--	--

(6) 地域共催事業（公益目的事業 1）

地域の自治会や社会福祉協議会などが主体となって開催された各種事業に参加・協力をいたします。4年度も多くの事業が感染拡大防止の観点から中止となりました。

① ラジオ体操

平日（月～金）朝、住民や関係団体職員等が参加して、センター広場にてラジオ体操を実施しました。

② 地域防災拠点訓練

10月17日、当センター広場にて実施された「寿プラザ地区地域防災拠点運営委員会」主催の地域防災拠点訓練について準備段階から企画運営に参画し、当日の運営に協力しました。当日は、感染拡大防止の観点から各班からの代表者による参加で、マンホールトイレの設置訓練、水消火器による消火訓練、起震車体験、AED訓練、などが実施されました。

③ ことぶき福祉まつり

11月に寿公園で開催予定の寿地区社協主催による福祉まつりは、感染拡大

防止の観点から中止となりました。

④ クリスマス行事

12月に開催予定の、寿地区自治会との共催によるセンター1階でツリーの点灯式は中止となりました。

⑤ 大・豆まき大会

1月から2月に、寿地区自治会との共催によりセンター広場で開催予定の豆まき大会は中止となりました。

(7) センターまつり事業（公益目的事業1）

例年11月にセンターまつりを実施しています。新型コロナウイルスの感染拡大状況から令和2・3年は中止しましたが、4年度からは再開することができ、5年度も500人を超える来場者で賑わいました。あわせてセンター登録団体などの出展作品による「ことぶき作品展」を実施しました。

(8) 施設維持管理

センター利用者の方々に安心・安全に施設を利用していただくために施設の維持管理等を行いました。

① 建物清掃・管理関係

建物清掃、人的警備、機械警備、電気設備管理、電気保安点検等

② 各種設備点検・整備等関係

消防設備、空調設備、昇降機、自動ドア、受水槽類清掃委託
貯水タンク類保守、衛生害虫駆除、浴場水質検査

(9) センター運営協議会の開催

センターの運営をより効果的かつ地域に密着したものとするため、地元委員、関連施設委員、行政関係者による運営協議会を開催し、意見交換を行いました。

① 開催日 12月12日

② 会場 センター2階会議室

③ 出席者 委員19人 事務局4名

④ 内容

令和4年度センター事業報告、ことぶき協働スペース運営事業について
令和4年度の取組みと成果・課題、令和5年度センター事業計画、ことぶき協働スペース2023年度事業計画、質疑と意見交換

4 横浜市寿生活館の管理運営（公益目的事業3）

令和3年1月に、横浜市から第4期(令和3年度～令和7年度までの5年間)の指定管理業務を受託し、住居のない方及び地域住民の方の福祉の向上を目的に、生